

新春を迎えて

西東京市地域支部長 濱田 豊

新年おめでとうございます。本年も皆さまにとりまして、良い一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

コロナ感染は増減を繰り返し、2023年の幕開けは第8波の感染増大の最中にいます。ロシアのウクライナに対する戦争も終る気配がありません。世界は狭くなり、それらの影響は我々の社会を真綿のように締め付け始めています。三年間続いたコロナの猛威に細心の注意を払うのは言うまでもありませんが、人との接触を極力避ける孤独な生活も他方で問題を引き起こすことがこの三年間で分ってきました。校友会活動の舵取りも中々微妙であることに変わり無く、その都度判断に苦慮してきました。昨年は感染防止のため一歩腰を引いた状態でも、できることをできる範囲で行ってきました。例えば毎月の公園昼食会やリモート懇親会、ハイキングや街歩き、BBQの試験的開催、そして二つの総会開催など、結果的にまずまずの活動ができたかと思えます。今年も集まる機会を多く作り、自由に参加できる緩やかな形の活動を進めて参ります。そして密を避けた役員委員会議を毎月開き、西東京紫紺会の土台を固める地道な作業を粛々と進めて参ります。

又、自分たちの楽しみだけではなく、何か地域のために役立つことができないものかを模索して、昨年は子供食堂支援が社会貢献活動の端緒を開きました。明治大学や学生さんへの支援は既に個人的になさっている方も多いと思います。世の中のニュースを広く見聞きする度、自分から声を上げられない生活苦の方は多いものと推察しています。片親世帯や非正規就労の方々等々、地域でも支援を必要とされている方は一定数いるはずで、お互いさまですから個人的な支援活動と並行して西東京紫紺会でも何か組織的に役割を果す活動ができればと考えている所です。

西東京紫紺会は、会員の皆さま一人ひとりの明大校友会です。二年後の2025年7月には創立20周年を迎え、記念事業の開催準備も始まりました。コロナの先行きは不透明ですが、5月の総会で皆さまにお会いできることを楽しみにしています。

2023年の年頭に当りまして、皆さまとご家族の健康と幸せを心から祈ります。
本年も何卒宜しく願い申し上げます。